

図南丸による調査実績表

航海順	期	間	調査海域
第1次	昭和35.	5. 2 9 6. 2 9	セレベス海、ハルマヘラ近海、フィリピン東海
2	〃 〃	8. 1 9. 1	全 上
3	〃 36.	2. 9 3. 1 5	ハルマヘラ近海、フィリピン東海、ミクロネシア海
4	〃 〃	8. 6 9. 3	セレベス海
5	〃 37.	5. 2 6 6. 2 7	セレベス海、フィリピン東海
6	〃 〃	8. 1 1 9. 1 4	セレベス海
7	〃 38.	4. 4 5. 7	ハルマヘラ近海、フィリピン東海
8	〃 〃	1 1. 1 5 1 2. 2 2	セレベス海、バンダ海、ハルマヘラ近海
9	〃 39.	1. 2 7 3. 2	全 上
10	〃 41.	2. 8 3. 1 5	セレベス海、ハルマヘラ近海
11	〃 〃	8. 2 5 9. 2 7	セレベス海
12	〃 42.	2. 1 8 3. 2 4	セレベス海、ハルマヘラ近海
13	〃 〃	8. 3 1 0. 2	サイパン、トラツク、ポナペ近海
14	〃 43.	1. 1 9 2. 2 7	ニューギニア北方近海
15	〃 〃	7. 2 9 9. 2	トラツク諸島近海
16	〃 44.	1. 8 2. 1 2	ニューギニア北方、ヤップ近海

釣 獲 率

フィリピン東方漁場

操業24回使用釣数33,878本漁獲尾数788尾で平均釣獲率は、2.33%魚種別には、キハダ1.35%、メバチ0.32%、ピンチヨウ0.006%、クロマグロ0.006%、クロカワカジキ0.12%、シロカワカジキ0.01%、マカジキ0.02%、メカジキ0.003%、フウライカジキ0.003%、バシヨウカジキ0.19%、サメ0.2%である。年度別では1960年2.00%、

61年は稍好漁で3.80%を示したが翌62、63年は下降線を辿り、特に63年は1.54%の非常に悪い状態であった。

ミクロネシア漁場

操業53回使用釣数65,560本漁獲尾数1,740尾平均釣獲率は2.65%魚種別にはキハダ1.46%、メバチ0.27%、ビンチヨウ0.08%、クロカワカジキ0.05%、シロカワカジキ0.007%、マカジキ0.001%、メカジキ0.007%、バシヨウカジキ0.03%、サメ0.71%である。年別では68年に3.59%の稍高率を示したが他の年度は何れも1%~2%台の低調であった。

ハルマヘラ近海

操業35回使用釣数47,061本漁獲尾数1,662尾で平均釣獲率は3.53%魚種別にはキハダ1.99%、メバチ0.35%、クロカワカジキ0.06%、シロカワカジキ0.07%、マカジキ0.008%、メカジキ0.019%、バシヨウカジキ0.17%、サメ0.84%である。

年別では60年に5.60%の好漁を示し、翌61年は若干低下したものの依然4.00%の好漁が続いた。その後下降状態となったが66年に再び3.52%の稍好漁に転じ、67年は2%台に落ちている。

セレベス海

操業66回使用釣数89,449本漁獲尾数3,562尾平均釣獲率は3.98%魚種別にはキハダ3.12%、メバチ0.24%、ビンチヨウ0.001%、クロカワカジキ0.049%、シロカワカジキ0.03%、メカジキ0.012%、バシヨウカジキ0.10%、サメ0.42%である。

年別には60年が3.40%の稍好漁、翌61年は4.5%の好漁が続いたが62、64年は2%台に低下した。66年には最高5.63%の好漁となるも翌67年は再び1.54%に落ち込んだ。

バンダ海

操業15回使用釣数21,920本漁獲尾数834尾平均釣獲率は3.80%魚種別にはキハダ2.32%、メバチ0.74%、クロカワカジキ0.077%、シロカワカジキ0.11%、マカジキ0.004%、メカジキ0.05%、バシヨウカジキ0.13%、サメ0.35%である。

年度別の調査資料は少いが、1963年は平均釣獲率3.82%で64年は3.73%を示し、両年度に関する限り比較的安定した漁況を示していると云えよう。